

2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー
 コード番号 3187 URL <http://www.sanwacompany.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6359-6721

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	8,363	3.9	205	782.6	198	621.7	6	45.0
2020年9月期第3四半期	8,053	7.8	23		27		10	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	0.34	0.34
2020年9月期第3四半期	0.63	0.62

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第3四半期	4,758	1,925	40.5	109.91
2020年9月期	4,387	1,968	44.9	112.42

(参考)自己資本 2021年9月期第3四半期 1,925百万円 2020年9月期 1,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		3.00	3.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	6.1	263	429.2	265	361.8	52		2.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2021年8月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	17,946,000 株	2020年9月期	17,906,000 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	423,800 株	2020年9月期	398,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	17,519,581 株	2020年9月期3Q	17,432,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2021年9月期の配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化及び感染再拡大に伴い緊急事態宣言が発出されるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。今後、同感染症に対するワクチンの普及に伴い同感染症が沈静化することが期待されるものの、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は売上成長を維持しつつ高収益な企業体質に変革することを目指し、国内事業の収益基盤を強化すると同時に、今後の収益の柱となる新規事業の土台作りを開始いたしました。

当第3四半期累計期間におきましては、主力の洗面に加え、エクステリアや収納カテゴリの売上が好調に推移いたしました。洗面カテゴリでは、洗面台や洗面ボウルと併せてミラーボックスの売上が好調に推移し、エクステリアや収納カテゴリでは人気商品のカラーバリエーション追加などにより売上が増加いたしました。オリジナル新商品の投入に加え、インテリア雑貨等の取り扱いを増やすなど、空間全体をプロデュースできる品揃えを目指し、ラインナップを拡充しております。また、以前より継続して実施しているWEB広告やSEO対策等の集客施策が奏功し、コロナ禍においても新規登録会員数は右肩上がり増加しております。

新たな生活様式への対応としましては、オンライン接客サービスをはじめ、新商品オンラインセミナーを開催するなどオンラインを活用した取り組みを推進しているほか、2020年10月より在宅勤務とフレックスタイム勤務を制度として導入し、変化する環境に対応した働きやすい環境づくりにも注力いたしました。その他、今後の建築・インテリア業界を支える才能豊かなデザイナーを発掘する「サンワカンパニーデザインアワード」や、デザイン業界の未来を担うアーティストの支援を行う「sanwacompany Art Award / Art in The House」を継続して開催するなど、デザインを強みとする当社のブランド認知を高めると同時に、これからの社会を発展させる若者支援にも取り組んでおります。

一方で、今後、住宅事業や不動産再販事業などの新規事業を強化していくため、2020年10月に当該事業を管轄するスペースデザイン事業部を新設いたしました。また、モジュラー建築であるCLASCO（クラスコ）の新シリーズとして、トレーラーハウスタイプの「mobileCLASCO（モバイルクラスコ）」をリリースし、物件の企画・設計から設備・建材のコーディネートといった空間をトータルプロデュースするサービスを強化しております。

海外事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で現地への訪問や現地での営業活動に制約が続く中、オンラインを活用した商談やショールームツアーを実施するなど、現地の代理店と協業して販路の拡大に取り組まれました。

なお、前事業年度に実施していた倉庫移管が完了し倉庫運営を効率化したこと、協賛内容の見直しやコロナ禍による国際見本市の出展見送りなどにより、販売費及び一般管理費は前事業年度より減少し、営業利益及び経常利益は前年同期より増加しましたが、東京ショールーム移転に伴い減損損失の計上と法人税等調整額の増加があったことで、四半期純利益は前年同期より減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高8,363百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益205百万円（前年同期比782.6%増）、経常利益198百万円（前年同期比621.7%増）、四半期純利益6百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ371百万円増加し、4,758百万円となりました。その主な要因は、建物の増加304百万円、商品の増加222百万円、差入保証金の増加134百万円、前渡金の増加63百万円があった一方で、現金及び預金の減少319百万円、繰延税金資産の減少93百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ413百万円増加し、2,832百万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加180百万円、資産除去債務（固定負債）の増加152百万円、長期借入金の増加117百万円があった一方で、前受金の減少127百万円、未払消費税等の減少74百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ42百万円減少し、1,925百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少46百万円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間においては、売上高は、新規登録会員数が順調に増加していることなどから前回予想をやや上回る見込みです。営業利益、経常利益、当期純利益については、広告宣伝施策の見直しや倉庫運用の効率化、オンライン会議の活用などコスト削減に努めた結果、前回発表予想の水準を大幅に上回る見込みであることから、通期の業績予想を修正いたしました。詳細については、本日（2021年8月12日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	821,330	501,831
売掛金	626,258	651,604
商品	881,470	1,104,348
未着商品	26,345	65,002
貯蔵品	27,208	28,944
前渡金	56,123	119,694
前払費用	83,991	80,491
未収消費税等	-	8,080
その他	7,056	10,076
流動資産合計	2,529,784	2,570,073
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	446,790	751,261
車両運搬具(純額)	-	5,020
工具、器具及び備品(純額)	34,750	56,494
土地	28,731	70,844
建設仮勘定	1,010	4,511
有形固定資産合計	511,283	888,132
無形固定資産		
商標権	9,631	8,762
意匠権	2,156	1,908
ソフトウェア	144,058	77,634
無形固定資産合計	155,847	88,305
投資その他の資産		
投資有価証券	250,464	273,848
関係会社株式	0	0
長期貸付金	48,399	-
関係会社長期貸付金	133,000	133,000
長期前払費用	335,047	339,974
差入保証金	446,917	581,851
繰延税金資産	101,031	7,912
その他	8,516	8,523
貸倒引当金	△133,000	△133,000
投資その他の資産合計	1,190,376	1,212,111
固定資産合計	1,857,507	2,188,549
資産合計	4,387,292	4,758,622

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,552	812,228
短期借入金	700,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	63,332	91,003
未払金	158,697	238,615
未払費用	89,282	87,974
未払法人税等	22,453	2,024
未払消費税等	74,716	—
前受金	395,552	267,738
預り金	8,167	25,996
資産除去債務	38,000	—
賞与引当金	57,926	56,267
ポイント引当金	17,099	19,829
その他	7,402	5,870
流動負債合計	2,264,182	2,407,547
固定負債		
長期借入金	16,670	134,000
資産除去債務	136,104	289,001
長期預り保証金	2,250	2,250
固定負債合計	155,024	425,251
負債合計	2,419,206	2,832,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	591,839	593,299
資本剰余金		
資本準備金	541,839	543,299
資本剰余金合計	541,839	543,299
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	979,909	933,407
利益剰余金合計	979,909	933,407
自己株式	△145,562	△145,562
株主資本合計	1,968,027	1,924,445
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58	1,379
評価・換算差額等合計	58	1,379
純資産合計	1,968,085	1,925,824
負債純資産合計	4,387,292	4,758,622

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,053,005	8,363,257
売上原価	5,206,994	5,376,088
売上総利益	2,846,010	2,987,168
販売費及び一般管理費	2,822,761	2,781,987
営業利益	23,248	205,181
営業外収益		
受取利息	944	622
為替差益	55	1,600
受取保険金	50	3,082
受取補償金	2,745	36
協賛金収入	2,000	—
物品売却益	324	541
雑収入	858	2,567
営業外収益合計	6,979	8,450
営業外費用		
支払利息	1,797	1,855
支払手数料	950	1,292
投資事業組合運用損	—	2,238
株式報酬費用	—	5,095
支払補償費	—	4,667
雑損失	—	167
営業外費用合計	2,748	15,316
経常利益	27,479	198,316
特別損失		
固定資産除却損	176	1,269
投資有価証券評価損	—	20,259
減損損失	—	73,113
特別損失合計	176	94,642
税引前四半期純利益	27,302	103,673
法人税、住民税及び事業税	9,173	5,116
法人税等調整額	7,178	92,537
法人税等合計	16,351	97,653
四半期純利益	10,951	6,019

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積額の変更)

当第3四半期累計期間において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報が入手されたことに伴い、会計上の見積りの変更を行いました。

この見積りの変更により資産除去債務残高が123,341千円増加し、従来の方法に比べて当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ478千円減少しており、また、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部について減損損失として処理したため、当第3四半期累計期間の税引前四半期純利益が73,591千円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大は経済に大きな影響を与え、同感染症の長期化及び感染再拡大に伴い緊急事態宣言が発出されるなど、収束時期等を予測することは困難な状況にあります。現時点においては、新型コロナウイルス感染症拡大による事業等への影響は、軽微と捉えております。

今後、ワクチンの普及に伴い2021年9月に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に縮小していくと仮定して、会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損の判定）を行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社は、住宅設備機器、建築資材のインターネット通信販売事業の他に当事業年度からスペースデザイン事業部の新設に伴い関連する不動産賃貸収入を売上計上しておりますが、重要性が乏しいことから、セグメント別の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。